

国語科学習指導計画

広島県立府中高等学校 戸田えつ子

学年・科目 第1学年「国語総合」

単元名 「関連のある文章を読むことにより、筆者の主張に対して、考えを深める。」
『ネットが崩す公私の境』黒崎政男 [高等学校国語総合 現代文編 (第一学習社)]

単元の目標

- ・自分の考えを深めるため、関連のある文章を意欲的に読み、活用する。(関心・意欲・態度)
- ・筆者の主張に対して、考えを深める。(読む能力)

単元の評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 読む能力
自分の考えを深めるため、関連のある文章を意欲的に読み、活用しようとしている。	筆者の主張を理解している。 筆者の主張を吟味している。 説得力のある理由・根拠に基づいた自分なりの考えをもっている。

指導と評価の計画 (全 5 時間)

主な指導内容	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
(1 時間目の目標) 全文を読み、筆者の主張をまとめる。			
<ul style="list-style-type: none"> ・全文を通読させる。 ・筆者の主張をまとめさせる。 ・筆者の主張を的確に理解させる。 【工夫点】 	<ul style="list-style-type: none"> ・難読漢字を確認する。 ・題名に注目させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張を理解している。(イ) 	ワークシート
(2 時間目の目標) 筆者の主張について確認し、それに対する自分の考えを書く。			
<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張を確認する。 ・自分の考えを書かせる。 ・筆者の主張について補足説明をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・板書して示す。 ・主張を理解したのち書かせる。 ・生徒の実体験も聞き出しながら理解を深めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説得力のある理由・根拠に基づいた自分なりの考えをもっている。(イ) 	ワークシート

(3時間目の目標)自分の考えを分析し、筆者の主張を吟味する。			
<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを分析させる。 【ワークシート(a)工夫点】 自分の立場をひっくり返させる。 【ワークシート(b)工夫点】 関連のある文章を読ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 立場と理由・根拠に分けさせる。 筆者の主張を相対化する視点をもたせる。 筆者に対して対等な立場に立たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張を吟味している。(イ) 自分の考えを深めるため、関連のある文章を意欲的に読もうとしている。(ア) 	ワークシート 観察
(4時間目の目標)関連のある文章を読み、考えを深める。			
<ul style="list-style-type: none"> 関連のある文章を、様々な立場を想定し、その立場を裏付ける理由・根拠を探しながら読ませる。 【ワークシート(c)工夫点】 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート(b)にコメントを入れたものを返却して参考にさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを深めるため、関連のある文章を意欲的に活用しようとしている。(ア) 	ワークシート 観察
(5時間目の目標)深まった自分の考えを書く。			
<ul style="list-style-type: none"> 関連のある文章の中から最も参考になった文章の番号と理由を書かせる。 深まった自分の考えを書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 最も参考になった関連のある文章を把握する。 授業の中で書いてきたワークシートを見直させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 説得力のある理由・根拠に基づいた自分なりの考えもっている。(イ) 	ワークシート

工夫点 から と、ワークシートについて

- 【工夫点】文章の題名に筆者の主張がまとめられている場合があることに注目させた。また、関連のある文章(3時間目に配布)には授業者があらかじめ題名をつけておき、主張の理解の参考にさせた。
- 【工夫点】2時間目に書かせた自分の考えを分析させた。具体的には、ワークシート(a)により、自分の考えを、立場(筆者の主張に対する自分の価値観)とその理由・根拠に分けさせた上で、筆者の主張からずれていないか、筆者の主張を繰り返すだけになっていないかを分析させた。
- 【工夫点】筆者の主張を相対化する視点をもつために、自分の立場をひっくり返させた。逆の立場に立つ可能性はないのか、今挙げている理由・根拠は説得力のあるものなのかを、ワークシート(b)の作業を通して考えさせた。ワークシート(b)は回収し、コメントを入れて返却した。
- 【工夫点】関連のある文章を、様々な立場を想定し、その立場を裏付ける理由・根拠を探しながら読ませ、ワークシート(c)にまとめさせた。関連のある文章は、「ネットが崩す公私の境」の筆者の主張に対して、同じ価値観(同価値)、反対の価値観(反価値)、中立の価値観(中立)の三つの立場について二つずつ、合計六つの文章を選定し読ませた。